

会計名 一般会計			学習発表会実施事業				担当部	生涯学習部		
款	項	目					担当課	東刈谷市民センター		
10	5	9					担当係			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化							
		基本施策	生涯学習							
		施策の内容	学習活動の支援							
	目的	東刈谷市民センターの利用団体が日頃の学習成果を発表、展示することにより、学習意欲の向上と団体間の交流や親睦を図る。			主たる内容	学習成果の発表・展示、芸能音楽の発表、茶会を年1回、東刈谷市民センター全館で実施する。				
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市生涯学習推進計画							
			根拠法令	社会教育法						
		対象者	東刈谷市民センター利用団体及び地域住民		事業期間	昭和57年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他							
	B 事業実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画		
		2月19日（日）開催 参加団体数 37団体 参加者数 371人 入場者数 1,078人		2月24日（日）開催 参加団体数 36団体 参加者数 323人 入場者数 877人		2月23日（日）開催 参加団体数 36団体 参加者数 356人 入場者数 640人		2月下旬開催予定 参加予定団体数 39団体 参加者予定数 380人 入場者予定数 820人		
成果		学習発表会を通じて利用グループが日頃の学習成果を発表することにより、学習意欲の向上、新たな学習課題の発見につながった。また、参加者と地域住民との交流や親睦を深めることができた。								
課題		参加団体数、参加者数、入場者数を拡大する方策が求められる。								
指標名称（単位）				実績値			目標値			
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
活動指標		参加団体数（団体）			37	36	36	39	40	
成果指標		来館者数【参加者数+入場者数】（人）			1,449	1,200	996	1,200	1,200	
他市との比較検証		近隣市（安城市）においても公民館単位で、利用団体が学習成果の発表する「公民館まつり」を年1回開催し、地域の生涯学習活動の啓発を行っている。								
C 事業コスト		単位：千円		23年度（決算）	24年度（決算）	25年度（決算）	26年度（予算）	25年度事業費内訳		
	事業費 ①		320	320	338	344	合計	337,530 円		
	財源	特定財源	0	0	0	0	委託料	320,000 円		
		一般財源	320	320	338	344	使用料及び賃借料	17,530 円		
	職員人件費 ②		1,436	2,122	2,104	2,198				
	総事業費（①+②）		1,756	2,442	2,442	2,542				
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		25年度特定財源名称				
25年度までの累積事業費		0								
27年度以降の事業費見込		0								

会計名			学習発表会実施事業	担当部	生涯学習部
一般会計				担当課	東刈谷市民センター
款	項	目		担当係	
10	5	9			
C H E D C K ハ 評 価 シ ト	各視点からの評価			評価の理由	
	必要性	<ul style="list-style-type: none"> 法的業務 市民ニーズ、社会需要 市民生活上必要である など 	高い	東刈谷市民センターの利用団体である市民が、日頃の学習成果を発表・展示することで学習意欲の向上と団体間の交流や親睦を図るため、必要性の高い事業である。	
	効率性	<ul style="list-style-type: none"> コストの節減、費用対効果 執行体制の効率性 手段の最適性 など 	普通	東刈谷市民センターの利用団体で構成される実行委員会に委託し、活動の充実・活性化を図り、学習意欲の一層の向上や参加促進を行い、効率的な運営を行っている。	
	妥当性	<ul style="list-style-type: none"> 市が主体となって実施すべき事業であるか 総合計画との整合性 など 	高い	市民の学習意欲を高めるため、学習成果の発表の場を提供することは、生涯学習活動を支援するために必要な事業であり、市の関与は必要である。	
	施策への貢献度	<ul style="list-style-type: none"> 施策への貢献度 目標達成度 市民サービスへの効果 など 	普通	学習発表会を実施することで、市民の学習意欲の向上及び学習活動への参加の促進に寄与している。	
	今後の方向性			<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 終期設定 <input type="checkbox"/> 休止・廃止	
引き続き、東刈谷市民センターにおいて学習発表会を行うことで、市民の学習意欲の向上を図るとともに学習活動への参加を促進していく。					

会計名			施設管理事業				担当部	生涯学習部	
一般会計							担当課	東刈谷市民センター	
款	項	目					担当係		
10	5	9							
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	生涯学習施設（東刈谷市民センター）として維持管理に努め、利用者の利便を図る。	主たる内容	施設利用に係る受付事務、施設清掃、各種設備機器の日常・定期点検を通じて、施設の適正な維持・保守管理を行う。					
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市生涯学習推進計画						
		根拠法令	社会教育法、刈谷市市民センター条例、刈谷市公民館条例						
		対象者	市民	事業期間	昭和57年度～				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 計画	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		東刈谷公民館利用者数 47,555人		東刈谷公民館利用者数 44,406人		東刈谷公民館利用者数 27,070人		東刈谷公民館利用者予定数 30,000人	
施設利用率 39.9%		施設利用率 39.7%		施設利用率 37.9%		施設利用予定率 40.6%			
成果 (できたこと)		身近な学習施設である東刈谷市民センターで、公民館利用者が気軽に利用できるよう住民の利便を図り生涯学習の場を提供できた。							
課題 (できなかったこと)		施設利用率が減少傾向にあり、市民講座参加者などに新たなサークル活動を促すなど、公民館利用者数、施設利用率を増やす施策が求められる。							
指標名称（単位）			実績値			目標値			
			23年度	24年度	25年度	26年度	28年度		
活動指標		東刈谷公民館利用者数（人）		47,555	44,406	27,070	30,000	35,000	
成果指標		施設利用率（%）		39.9	39.7	37.9	40.6	43.0	
他市との比較検証		近隣市（安城市）においても、地区公民館単位で、施設管理コストの削減に努め、また、積極的に利用者からの意見収集に努め、適切に対処することで、よりよい施設環境の提供を行っている。							
C 事業コスト	単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳		
	事業費 ①		8,481	8,545	11,551	12,497	合計	11,550,824 円	
	財源	特定財源	1,655	1,682	1,647	1,831	需用費	3,159,092 円	
		一般財源	6,826	6,863	9,904	10,666	役務費	118,515 円	
	職員人件費 ②		4,307	4,952	4,909	5,496	委託料	8,215,752 円	
	総事業費 (①+②)		12,788	13,497	16,460	17,993	使用料及び賃借料	57,465 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0		市民センター使用料 行政財産目的外使用料 電話料実費徴収金					
27年度以降の事業費見込		0							

会計名		施設補修事業				担当部	生涯学習部		
一般会計						担当課	東刈谷市民センター		
款	項					目	担当係		
10	5					9			
PLAN 事業概要 計画	総合計画 施策体系	分野	教育文化						
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	生涯学習施設の利用促進						
	目的	昭和57年4月に開設した東刈谷市民センターは30年を経過し、施設の老朽化が進む中、施設を良好に維持し、施設の円滑な運営と利用者の安全を図る。	主たる内容	(財)中部電気保安協会より指摘のあった高圧ケーブル等の更新及び、受電設備のLBSの誤動作防止、変圧器等による事故を防止するため取替。 児童館内外自動扉開閉装置老朽化による取替。 児童館遊戯室カーペット張替及び、壁の防護マット取替修繕を行う。					
	位置づけ	関連計画		第2次刈谷市生涯学習推進計画					
		根拠法令		社会教育法、刈谷市市民センター条例、刈谷市公民館条例					
		対象者	市民	事業期間	昭和57年度 ~				
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	BDO 事業実績 実施	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		・ガス管等取替工事		・屋上等防水改修工事		・高圧ケーブル等取替修繕 ・児童館遊戯室カーペット張替 ・〃遊戯室防護マット取替修繕 ・〃内外自動扉開閉装置修理		・出張所自動扉開閉装置修理 ・カーテン・襖等の取替及び張替 ・空調機オーバーホール ・児童館トイレ汚水管取替修繕	
成果 (できたこと)		電気設備等の老朽化による停電及び事故を防ぎ、児童館遊戯室のカーペット張替及び壁の防護マット取替を行うことにより、施設利用者の安全及び利便性を図ることができた。							
課題 (できなかったこと)		施設の老朽化に伴い、随時修繕を行っていく必要がある。							
指標名称(単位)				実績値		目標値			
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度	
指標									
指標									
他市との比較検証									
C 事業コスト		単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳	
	事業費 ①		1,138	8,862	3,129	2,600	合計	3,129,000 円	
	財源	特定財源	0	0	0	0	需用費	3,129,000 円	
		一般財源	1,138	8,862	3,129	2,600			
	職員人件費 ②		718	1,061	1,052	1,099			
	総事業費(①+②)		1,856	9,923	4,181	3,699			
	建設事業	全体事業費(単位：千円)		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0							
27年度以降の事業費見込		0							

会計名		市民講座開設事業				担当部	生涯学習部		
一般会計						担当課	東刈谷市民センター		
款	項					目	担当係		
10	5					9			
PLAN 事業概要 計画 V	総合計画 施策体系	分野	教育文化			主たる内容	市民ニーズの把握に努め、各種講座を前期3講座、後期3講座に分けて約3か月間（各10回程度）開設する。 1講座当たりの受講者数は、10~20人程度で実施し、市民が気軽に学習活動に触れられる場を設ける。		
		基本施策	生涯学習						
		施策の内容	学習機会の充実						
	目的	多様化する市民の学習要求に応え、誰もが気軽に学べる機会と場所を提供し、生涯学習の推進と支援を図る。							
	位置づけ	関連計画	第2次刈谷市生涯学習推進計画			事業期間	~		
		根拠法令	社会教育法						
		対象者	市内在住または在勤の人						
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助・助成 <input type="checkbox"/> その他						
	B 事業実績 O 実施 V	23年度実績		24年度実績		25年度実績		26年度計画	
		市民講座開設数	6講座	市民講座開設数	6講座	市民講座開設数	6講座	市民講座開設予定数	6講座
市民講座受講者数		113人	市民講座受講者数	119人	市民講座受講者数	135人	市民講座受講者予定数	120人	
成果 (できたこと)		受講者の知識・教養の向上、技術の習得に資すると共に、学習者相互のふれあいの場を提供することにより、生涯学習活動の推進に貢献することができた。							
課題 (できなかったこと)		市民講座受講後の受講者の施設利用を考慮に入れ、受講者による自主サークルへの参加や新たな自主サークル結成の促進を図る必要がある。							
指標名称（単位）				実績値			目標値		
				23年度	24年度	25年度	26年度	28年度	
活動指標		市民講座受講者数（人）			113	119	135	120	120
指標									
他市との比較検証		近隣市（安城市）においても、地区公民館単位で、市民が多様な学習機会の提供を受けることができるよう、地域の特性や公共的課題を鑑み、多種多様な講座を開催し、生涯学習の推進を行っている。							
C 事業コスト	単位：千円		23年度 (決算)	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (予算)	25年度 事業費内訳		
	事業費 ①		500	461	556	667	合計	555,730 円	
	財源	特定財源	108	111	121	120	報償費	426,000 円	
		一般財源	392	350	435	547	需用費	54,000 円	
	職員人件費 ②		4,307	4,598	4,559	4,030	役務費	22,000 円	
	総事業費 (①+②)		4,807	5,059	5,115	4,697	使用料及び賃借料	53,730 円	
	建設事業	全体事業費（単位：千円）		0		25年度特定財源名称			
25年度迄の累積事業費		0		講座受講料					
27年度以降の事業費見込		0							